

陸連 24 発 1310 号

2025 年 2 月 19 日

各加盟団体理事長・専務理事各位

公益財団法人日本陸上競技連盟

専務理事 田崎 博道

(公 印 省 略)

加入団体成立要件における指導者資格・審判資格の義務化時期の変更について

平素は、日本陸上競技界発展のため格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本連盟第 77 回理事会（2022 年 8 月 29 日）にて、「小学生もしくは中学生が登録する一般の加入団体において、指導者資格および審判資格保持者が 1 名以上登録していること」を 2025 年度から加入団体の成立要件とする方向性が承認され、第 91 回理事会（2024 年 6 月 5 日）においてコーチ資格の義務化時期ならびに移行措置、また第 95 回理事会（2024 年 12 月 10 日）において審判資格の義務化時期についてお示ししました。

公認コーチ資格保持者（および専門科目受講修了者）の充足率を改めて調べましたところ、都道府県により差が大きく、2025 年度から実施した場合、子どもたちに不利益が生じることがわかりました。そのため両資格の適用時期を合わせて、下記の通り **2027 年度から**に変更することといたします。

これまで積極的に両資格の養成をおこなっていただきました加盟団体の皆様には厚く御礼申し上げます。

今後の再延期はいたしませんので、対象の加入団体の関係者の方には、是非とも 2025 年度中にコーチ資格、審判資格講習会の受講をしていただくべくご指導していただきますよう重ねてお願い申し上げます。

新年度の登録開始時期が間近に迫っている中恐縮ですが、ご周知方よろしく願い申し上げます。

記

内 容 : **2027 年度から**小学生・中学生が登録を行う一般の加入団体において、1 名以上の **JAAF 公認コーチ資格(JSPO 公認スポーツ指導者資格)保持者、公認審判員資格保持者**が登録していることを必要とする。

※一般の加入団体とは、中体連登録の中学校は含まれません。

※コーチ資格に関しては、2026 年度までに全ての講習を修了し且つ JSPO への公認スポーツ指導者登録が完了していること、また既に資格取得済みの方においては資格が有効期間中であることが必要です。

※コーチ資格保持者だけでなく、審判資格保持者も同様に必要です。

* 本内容につきましては、別途各加入団体管理者の方にもメールにてご連絡いたします。

本件に関するお問合せ先：日本陸連事務局 担当：磯貝、田中：coach@jaaf.or.jp

三宅：start-info@jaaf.or.jp

以上